



不安と孤立を見捨てない

石坂わたるの

http://ishizakawataru.jp/ @ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758 [中野区議会]〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885 (無所属控室)

2018・冬号

みんなをつなぎ、差別のない多様性の街を創る。



「和して同ぜず」石坂わたるの原点は「多様性のある中野をつくること」です。様々な人とつながり、政党にも会派にも所属をせず、無所属の議員として活動をしています。イデオロギーにかたよらず、意見の異なる相手を排除・断絶せず、各政党・各会派と「和して同ぜず」議論や連携を行い、超党派の議員活動により、以下のことが実現しました。

★「ユニバーサルデザイン推進条例」を実現(30年3月)

前区長や区職員とやり取りを重ね、障がい者も高齢者も外国人もLGBTも乳幼児連れや妊産婦を含む女性も含まれ暮らしやすい中野区にするユニバーサルデザインを推進しました。本年3月には前区長提案のユニバーサルデザイン推進条例が全会一致で可決しました。

★同性パートナーシップ制度開始(30年9月)

当事者団体と共に、様々な党派の議員と勉強会や連携をし、ユニバーサルデザイン推進条例の理念に基づき、全会派の反対がない形で同性パートナーシップ制度を開始できました。

★政治から差別をなくすため、与野党を超えた国会議員が参加する院内集会在実現しました!(30年10月)

難病のALSに関する活動をしている川口有美子さん、生活困窮者支援の活動をしている稲葉剛さんと一緒に衆議院第二議員会館にて「政治から差別発言をなくすために私たちは何をすべきか」を開催。社会において差別にさらされやすいマイノリティである難病・身体障がい、依存症・精神障がい、トランスジェンダー・発達障がい、ゲイ・HIV、レズビアンマザーなど様々なマイノリティ当事者や、超党派の国会議員に参加を呼びかけ、発言をいただきました。熊谷晋一郎さんの基調講演では、差別や社会的烙印(スティ



関係者の集合写真

グマ)が心身の健康やひいては寿命にも影響していること。男→女の女性蔑視以外に、「あいつらみたいにそんな

発言していただいた議員 自民党橋本岳議員/公明党谷合正明議員/立憲民主党川田龍平議員、池田真紀議員、尾辻かな子議員/社民党福島みずほ議員/無所属木道義議員 (この他、公明党佐藤英道議員、国民民主党階猛議員、泉健太議員の秘書、共産党田村智子議員の秘書、無所属小川勝也議員の秘書にご参加いただきました)

★児童虐待防止を都知事に要望!(30年6月)

2017-18年度に石坂が代表代行を務めた東京若手議員の会。その児童虐待防止プロジェクトで、都民ファーストの会、自民党、公明党、立憲民主党、国民民主党の議員と一緒に施設の視察なども重ねて行い、要望書を作成。小池都知事に提出しました。



呼びかけ人の一人、川口由美子さんと



現在一方通行であるバスの両側通行化が必要です。

西武線の連続立体交差化とバス通り拡幅整備、渋滞解消に向け大工事が進められています。

西口および駅前前の整備とユニバーサルデザイン化が早急に必要です。

東口のユニバーサルデザイン化が早急に必要です。

丸の内線の日中時間帯も含めた支線から本線への直通運転が期待されています。

区境にある駅周辺のユニバーサルデザイン化など、まちづくりにおける他区との連携が必要です。

年4回の定例会議のたびに活動報告を発行しています。

石坂わたるの活動報告

7月18日	中野区議会議員選挙
7月15日	中野区議会議員選挙
7月12日	中野区議会議員選挙
7月9日	中野区議会議員選挙
7月6日	中野区議会議員選挙
7月3日	中野区議会議員選挙
7月1日	中野区議会議員選挙
6月28日	中野区議会議員選挙
6月25日	中野区議会議員選挙
6月22日	中野区議会議員選挙
6月19日	中野区議会議員選挙
6月16日	中野区議会議員選挙
6月13日	中野区議会議員選挙
6月10日	中野区議会議員選挙
6月7日	中野区議会議員選挙
6月4日	中野区議会議員選挙
6月1日	中野区議会議員選挙
5月28日	中野区議会議員選挙
5月25日	中野区議会議員選挙
5月22日	中野区議会議員選挙
5月19日	中野区議会議員選挙
5月16日	中野区議会議員選挙
5月13日	中野区議会議員選挙
5月10日	中野区議会議員選挙
5月7日	中野区議会議員選挙
5月4日	中野区議会議員選挙
5月1日	中野区議会議員選挙
4月28日	中野区議会議員選挙
4月25日	中野区議会議員選挙
4月22日	中野区議会議員選挙
4月19日	中野区議会議員選挙
4月16日	中野区議会議員選挙
4月13日	中野区議会議員選挙
4月10日	中野区議会議員選挙
4月7日	中野区議会議員選挙
4月4日	中野区議会議員選挙
4月1日	中野区議会議員選挙
3月28日	中野区議会議員選挙
3月25日	中野区議会議員選挙
3月22日	中野区議会議員選挙
3月19日	中野区議会議員選挙
3月16日	中野区議会議員選挙
3月13日	中野区議会議員選挙
3月10日	中野区議会議員選挙
3月7日	中野区議会議員選挙
3月4日	中野区議会議員選挙
3月1日	中野区議会議員選挙
2月28日	中野区議会議員選挙
2月25日	中野区議会議員選挙
2月22日	中野区議会議員選挙
2月19日	中野区議会議員選挙
2月16日	中野区議会議員選挙
2月13日	中野区議会議員選挙
2月10日	中野区議会議員選挙
2月7日	中野区議会議員選挙
2月4日	中野区議会議員選挙
2月1日	中野区議会議員選挙
1月28日	中野区議会議員選挙
1月25日	中野区議会議員選挙
1月22日	中野区議会議員選挙
1月19日	中野区議会議員選挙
1月16日	中野区議会議員選挙
1月13日	中野区議会議員選挙
1月10日	中野区議会議員選挙
1月7日	中野区議会議員選挙
1月4日	中野区議会議員選挙
1月1日	中野区議会議員選挙

メディアに掲載されました!

★時事ドットコムニュース(2018年7月27日)
「杉田氏寄稿に抗議集会」
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018072701219&g=pol>

★朝日新聞社WEB RONZA(2018年7月30日)
LGBT支援ハウスがなぜ必要なのか?
生活困窮者にとって深刻な居住環境の問題に対応
<https://webronza.asahi.com/national/articles/2018072600005.html>

メールニュース配信中!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。
09wishizaka@mbr.nifty.com

たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。

通信を郵送します!

中野区議会内では、無所属議員控え室にいます。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、うかがいます。

お話をうかがいます

★たつのご通信は年4回の発行をしております。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけましたら幸いです。

TEL&FAX 03-6304-8758 (事務所)
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

不安と孤立を見捨てない **石坂わたる**



石坂わたるの
議会質問

かんさんび
官尊民卑(公務員は偉く、民間はダメと言う考え方)は許さない。民案の力で評価と支援を!

私自身、公立学校と私立学校などの公・民の双方の勤務経験があり、双方のメリット・デメリットを感じてきました。少なくとも利用者本位の創意・工夫や寄り添う気持ちは私立の方が優れていると感じます。福祉・子育て支援において民間が担うことには弊害がないことを区行政に認めさせました。

一般質問

★災害対策として、古い建築物の建替えには基準緩和が必要!
石坂 建替を促す、高さ・建べい率・容積率の緩和をすべきです。
地域まちづくり推進部長 効果の高い取組や計画の検討を進めます。

★民間施設の優位性が明らかに!
石坂 中野区では高齢者や障がい者の福祉施設はすべて民間が担っています。弊害はありませんか。
健康福祉部長 それぞれの事業者が工夫を凝らし、民間ならではの柔軟で多様なサービスができています。

★避難所での障がい者支援の課題を指摘
石坂 震災用の一次避難所や二次避難所(福祉避難所)、水害用の避難所での障がい者の受け入れは、動き回れる知的・発達・精神の障がい者と、自力で動けない肢体不自由者等の避難所を分けることや、視覚・聴覚障がい者が情報が断たれて孤立をしない工夫が必要です。
都市基盤部長 訓練で障がい種ごとの課題も検討しており、柔軟な対応をします。一次避難所から二次避難所への移動訓練は検討します。
●また、二次避難所の防災訓練に防災担当職員だけでなく、障害福祉担当も参加するよう求めました。

★災害時には施設のWi-Fi環境の開放を
石坂 新体育館で災害時に無線Wi-Fiを開放してはどうですか。
健康福祉部長 Wi-Fiは詳細を現在検討中です。
●また、新体育館での災害時の障がい者の避難について指摘しました。

★「だれでもトイレ」を使いやすく
石坂 ①トランスジェンダーや、介助者が異性である場合の障がい者を想定して男女別ではないトイレにする、②施設内に複数か所の設置と、様々な障がい特性への対応、③見た目では困難がわかりにくい人の利用の理解を求める表示など、ガイドラインが必要ではないですか。
政策室長 きめ細かく検討し、多様なニーズに応える必要があります。
●外見でわかりにくいオストメイト(人工肛門・人口膀胱使用者)や性同一性障がいを含むトランスジェンダーの方が「だれでもトイレ」を使った際、「健常者が長時間占拠して!」と怒られることがあるそうです。また、中学校PTA連合会との懇談でも「性別違和に悩む生徒が少なからず存在している」として対応の要望があったことについても触れました。



中村キース・ヘリング美術館 ポップアップストア オープンイベント(7/6) | レインボーリール東京(7/16) | 大型児童施設視察(7/27) | 関東若手市議会議員の会研修会(8/1) | コーブみらい みらい広場(8/4) | 院内対話集会(10/29)

総括質疑

▶今後、民間の力を活かして多様なニーズに対応を!
石坂 障がい児の児童発達支援や放課後等デイサービスもすべて民間が担ってます。弊害があれば教えてください。
答弁 民間の弊害があるとは考えていません。
石坂 公立保育園の一定数の民営化で、人件費等が減ることについて、①残る公立園で、民間では採算が合いにくい取組みやモデル的な取組みに予算を振り分けること、②削減された経費を私立園の質の向上のための支援に充てること、③他の部署の職員数を増やし、区民の色々な行政ニーズに応えるべきではないですか。
答弁 さまざまな課題に対応するため、必要な部署へ人の配置をしたい。認可保育所で休日保育の実施園を増やす検討をしています。多様な保育ニーズに応える利便性の向上も検討します。

程度の発達障がい者支援やその周知が必要ではないですか。
答弁 支援ネットワーク作りに取り組みたいです。

▶成人の1型糖尿病の患者のインシュリン注射や、トランスジェンダーのホルモン治療についての支援を!
石坂 福祉手当の支給を考えた時、難病指定や医療保険の対象を管轄している国に要望をすべきでは。
答弁 手当支給は考えていません。国への要望は研究します。

▶生活困窮者の再出発のための支援を!
石坂 生活困窮者で無料低額宿泊所から居宅生活への移行が進まない例があります。施設収容が長いと地域での再出発が難しくなります。
答弁 早期の居宅生活移行に向け総合判断し、適切な支援をしたい。

▶この他に、
●障がい者にも分かりやすい形で、区ホームページに中野駅周辺の工事情報をまとめて掲載すること。
●路上生活者やハウジングプア状態の人の人権啓発、住まいの支援、生活困窮者が障がいを持つ場合の障がいの発見と支援を求めました。

建設委員会

自転車と歩行者の共存などを提案しました
●自転車規制後も、買物客の自転車の利便性を維持。
●空き家対策について漏電などの危険性への対応。
●中野区住宅政策審議会委員に、知的・精神障がい者が委員になっていないことを指摘。当事者や関係者の声をヒアリングして審議を進めること。

少子高齢化対策調査特別委員会

虐待を防ぐ家庭支援の充実などを求めました
●都から区への児童相談所の移管後も、すこやか福祉センターの旧地域子ども家庭支援センター機能が残ることを改めて確認。
●同性カップルが養育家庭の里親となることについて質問。「都も里親認定基準を緩和したため、区も考えたい」と担当が回答。
●保健師が精神障がい者の支援のために訪問するよう要望。



持続可能な福祉・介護・子育て支援を進めます
●家族の介護・介助・育児疲れを解消する支援の充実
●介護度が要支援の高齢者・若年性認知症の就労・生活支援
●高齢者や障がい者に関わる成年後見人や専門職の養成
●保育所や学童クラブの待機児童^{ゼロ}と、休日保育、病児・病後児保育、緊急一時保育、障がい児保育の充実。保育士の育成・人材確保・専門性の向上
●多様な家庭を支える保育サービスの充実と、認可保育所を含む保育施設の増設
●小児初期救急医療体制の拡充
●発達障がい児・者、高次脳機能障がい者、慢性疾患(HIV/肝炎/1型糖尿病等)や難病の支援拡充

虹(多様性)と緑(持続可能性)のある中野を!

●多様なニーズに気づける区職員の養成
●学校など区有施設の省エネ化、太陽電池と充電池の整備
●屋上緑化と壁面緑化の推進と実践例の区民への紹介
●少子化や人口減少社会でも持続可能な区有施設の検討
●原発のない社会に向けた省エネや再生エネルギーの活用推進

危機やつまずきへの不安と孤立を見捨てません

●24時間365日、ハラスメント・貧困・いじめ・暴力・孤立・自殺予防などの相談・支援先確保
●地震や水害などの災害時の安心・安全な避難先・支援先の確保
●発達障がいのお子さんへの巡回指導と家族などへの相談支援の拡充・勉強が苦手な子どもの支援といじめの防止
●若者や働きざかりの人が相談しやすい窓口の整備

問題解決・創造型の住民育成と、災害や事故から生命を守るしくみを進めます

●在住・在勤・在学者が気軽に社会に貢献できる「ちよこっとボランティア」や福祉・災害のボランティア養成
●木造密集地の更なる解消と地震や大火事に強い不燃化住宅建て替えの支援
●公共の担い手、支えあいの担い手としての自覚と責任を持つ区民の育成
●医療的ケアなどが必要な高齢者や障がい者が利用する全避難所への発電機の配置
●踏切解消やホームドア設置による人身事故の防止



ユニバーサルデザインやバリアフリーを進めます

●オストメイトやトランスジェンダー対応のだれでもトイレの全施設への設置
●鉄道全駅、公共施設、街中の歩道のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化
●障がい者の働く場・活動の場の開拓と支援
●社会貢献活動やユニバーサルデザインの普及に取り組む企業・NPOや、女性や障がい者などが働きやすい職場づくりに取り組む企業の支援
●パートナーシップ制度の対象拡大
●障がい者、高齢者、妊産婦を含む女性、LGBT、外国人等の社会参加の推進

どんな無駄も見逃さず、効果的なしくみを作ります

●横断的組織の強化や組織間連携でのたらいまわしの防止とワンストップ窓口整備
●24時間365日の相談対応と、夜間・土日祝日の区役所開庁日のサービス拡大
●区民が行政評価や政策提言を行う区民講座や対話集会の開催
●区境地域の街づくりで近隣自治体との連携強化
●議員の費用弁償(1日3000円)の廃止や政務活動費の全面公開、遠距離出張経費の領収書添付義務化
●選挙管理委員の報酬の在り方の見直し

